

特集展示

栗東歴史民俗博物館の“昔のくらし”

令和元年12月7日（土）～

令和2年3月1日（日）

会場：栗東歴史民俗博物館 第2展示室



旧中島家住宅での“かまどの火吹き体験”

展示解説

12月7日（土）、1月25日（土）、2月8日（土）

それぞれ 14:00～（1時間程度）

栗東歴史民俗博物館の“昔の暮らし”

栗東歴史民俗博物館では平成5年度から、小学生が社会科で学ぶ“昔の暮らし”に対応した体験学習を受け入れてきました。“昔の暮らし”は主に小学校3年生（一時期は3年生から4年生で学ぶことになっていた）の学習内容で、“祖父母が子どもだったころのくらしぶり”や“電気がなかったころのくらしぶり”などを、子どもたちが自ら調べて学ぶというものです。

体験学習では、収蔵資料を活かしたプログラムを提供しています。特に移築復元した旧中島家住宅（国登録有形文化財）の公開が始まると、旧中島家住宅の特性を活かした、かまどの火吹き体験やランプの明かり体験などの体験がメニューに加わり、栗東市域はもちろん、県内でもほかに例のないプログラムが体験できるとして、市内外の小学校が学習の一環として来館するようになりました。

この展覧会では、四半世紀にわたって行ってきた栗東歴史民俗博物館の博物館教室“昔の暮らし”について、紹介するとともに、個々のプログラムの裏側についても紹介します。



唐臼体験



旧中島家住宅での“明かりの体験”



体験プログラム開発の参考資料



洗濯体験

教科書でも昔と今の対比の例になることが多い、洗濯甕と洗濯板（昔）と洗濯機（今）